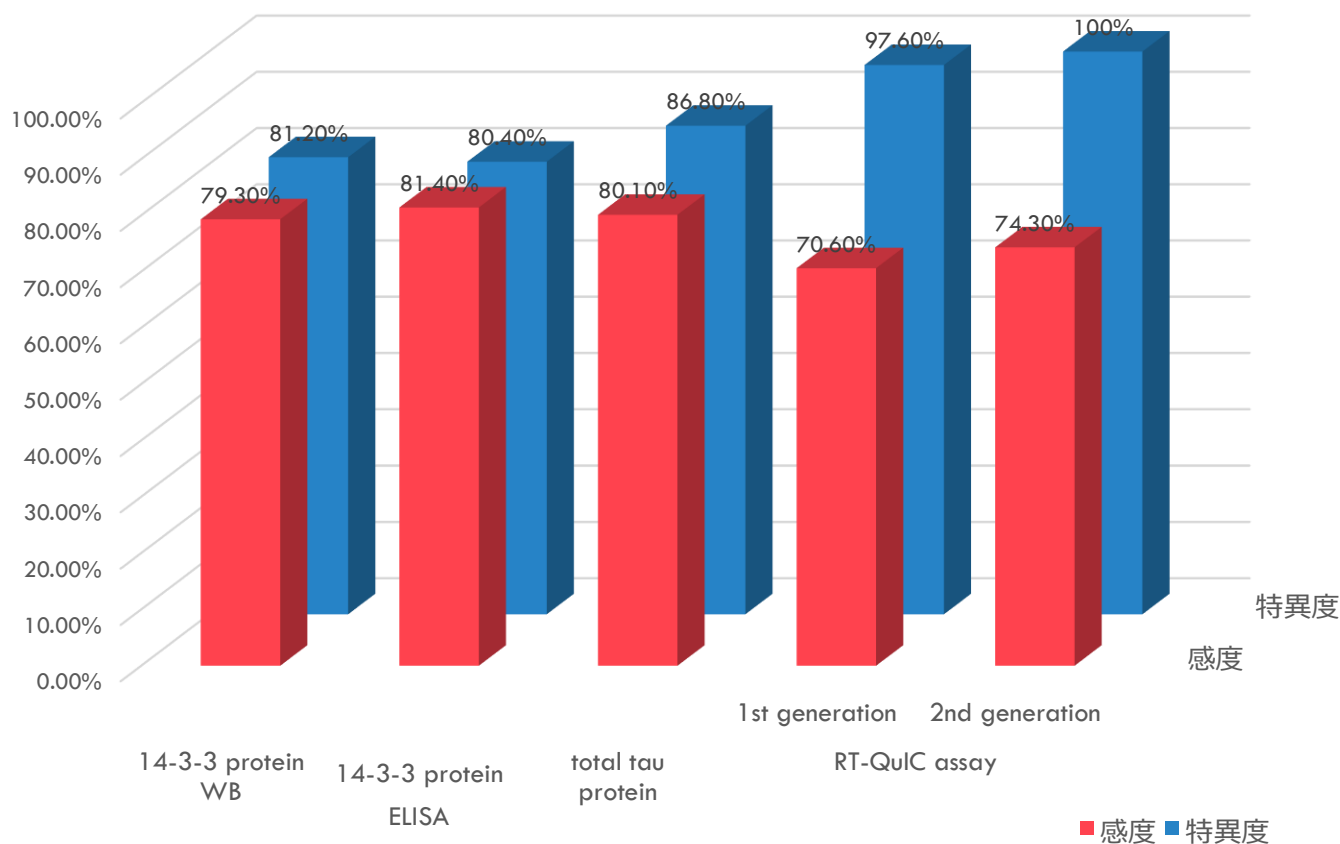


ヒトプリオン病患者の髄液中のバイオマーカーの解析と次世代QuIC法の開発

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健科学分野

佐藤克也



解説

1. EUにおける2nd generation RT-QuICを採用し、反応時間は60時間、温度は55度、CSFは20ulとした。4153検体ではプリオン病は2030症例、非プリオン病では2123症例であり、感度は74.3%、特異度は100%であった。
2. オーストラリアとのサンプルのやり取りでは当教室と同じレベルであったが、しかしながらリコンビナント蛋白の精製度ではオーストラリアに劣っていた。